

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

西部の道徳の未来へバトンをつなぐ



令和元年7月発行
西部教育事務所

東中筋小学校の挑戦!!「ユニット化で深める」

今回は、6月4日(火)の四万十市立東中筋小学校の授業研究会の様子を紹介します。5月14日の教材研究会で明らかになった課題をふまえ、「中心発問での進め方」「ユニットの効果的な活用」がより明確になった授業が行われました。



西部管内の
講座関係のHP

【提案授業】小学校4年「心と心のあく手（親切、思いやり）」 【授業者】 弘瀬 栄美 教諭（四万十市立東中筋小学校）

教材研究会で明確になった課題

- ①中心場面での発問で、「はやとはおばあさんに何が出来るか。」「自分だったらどうか。」を別々に聞いたが、そこははやについて聞いた後、自分についても考えさせると答えやすかったのではないか。
- ②「本当の親切」につなげるために、中心発問の後、「心と心のあく手ってどういうことだろうか。」と聞くことで、「本当の親切」につながるのではないか。
- ③せつかく意図的に行っているユニットをもっと生かす発問構成はないだろうか。という課題が明らかになり、そのことをふまえた本時の授業でした。

本時の
見どころは

◆ユニットを生かし、「親切、思いやり」についての児童の考えが深まる発問展開がされているか。

さて、子供達の反応はいかに…!

提案授業

児童の声を真剣に聴く
弘瀬栄美教諭



★児童の振り返りから★

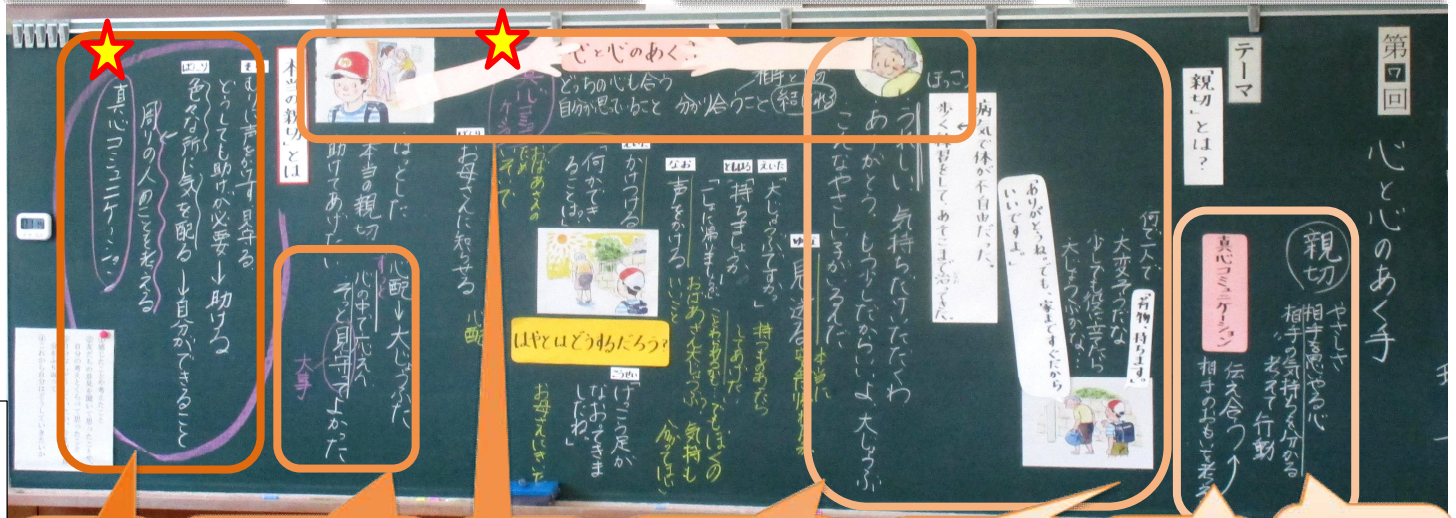
- ・ぼくは、相手に何をしたら親切なのかを考えて行動するのが大切だなと思いました。
- ・見守ってあげると声をかけるのでは、そのときにどんな感じかで決めるといいと気付きました。

「親切」についての考えの広がりを表現させる

「心と心のあく手」から「親切」を多面的に捉えさせる

声をかけることと「真心コミュニケーション」を関連づける

前時の「真心コミュニケーション」と本時の「親切」をつなげる



本当の親切って
どういうこと
だろう。

のかな。
コミュニケーション
ンって言う
のかな。

声もかけていな
いし、おばあ
さんは気付いて
いないのに、真
心コミュニケーション
ンって言う
のかな。

心と心のあく手
ってどういうこ
とだろう。

はやと君が声を
かけたことも真
心コミュニケーション
ンかな。
どうしてそう思
うの。

その後真心コ
ミュニケーション
ンやったよって
いうことあった
ら教えて。

真心コミュニケ
ーションってど
ういうことだっ
た？

強してきた？
今まで親切につ
いて勉強してき
たよね。どんな勉
強してきた？

高知大学 森 有希 准教授による指導・助言

◎「あれこそ ねらう道徳！」

授業の後半、先生が発問したわけではないのに、子どもの口から自然と「僕の中では、それは真心コミュニケーションだと思う。」「先生、やっぱり真心コミュニケーションは相手のことを考えることだ。」という言葉が出ましたよね(板書★の部分)。あれこそ、ねらう道徳です！子供たちが自分事として考えていたということです。先生がこの授業のねらいや意図を明確に持ち、どこで思考を深め、どこへ持っていきたいか(ゴール)をよく考えていたことが、あの子供たちの姿につながりましたね。

◎時間を短縮するポイントは…

- ①発問の厳選… 中心発問までを一つ一つ立ち止まらなくても子供は思考している。ゆっくり時間をかけず、子供に投げかけて印象づけるだけでよい発問もある。
- ②ペアの活用… 子供の「話したい」気持ちをペア対話によって満足させ、授業者はそれを聞き取り、ピックアップして発言させる方法もある。
- ③板書の工夫… 子供の発言をすべて書くことより、まずは子供の表情を見ながら聞くことが大事。メモをしておいてまとめて板書するとよい。
- ④書く時間の厳選… 話し合う時間を確保するには一時間に何回もは書かせられない。書かせる意図を持って場面をしぼることが必要である。



森 准教授

【参加者の声】

- ユニット化することで多面的・多角的に一つのことを捉え直すことができると感じた。
- 児童が思わず言いたくなるような教室の雰囲気がとてもよかった。意見を聞き合いながら児童が自分の心の中でのいるいる考えていることが、振り返りの文章からわかった。
- 話合いの時間を確保するために、発問を厳選することや中心発問までに20分残すこと、板書をまとめて書くことを、これからの自分の授業に生かしたい。

【担当より】

講座の最後に、授業者の弘瀬先生が「今日の授業ができたのは、みなさんが一緒に考えて下さったおかげです。とても勉強になったし楽しかったです。心から感謝します。」と話されました。弘瀬先生、こちらこそありがとうございます。次回の授業づくり講座(8/26)も、たくさん先生方の参加を心よりお待ちしております！